

## 国際看護学

科目到達目標: 国際社会で現実に行き起している事例を通して、健康問題への影響やその解決策と実践方法を理解することができる。

科目責任者(所属): 後藤 喜広(非常勤講師)、雑賀 倫子(地域・精神看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	8/18(木)	1	地域精神実習室	私たちの身近にある国際問題	後藤 喜広	(非常勤講師)	日本のニュースで取り上げられる国際問題をグループ討議する。	メディア・リテラシー、情報、戦争報道、グローバル化、先進国と開発途上国
2	8/18(木)	2	地域精神実習室	世界的規模の国際協力の枠組み	後藤 喜広	(非常勤講師)	国際協力の枠組みと、人間の安全保障の理解。	国際協力、援助、人間の安全保障
3	8/18(木)	3	地域精神実習室	国際看護に関わる機関、組織の役割	後藤 喜広	(非常勤講師)	政府、国際機構などの役割と限界、の理解。	国際機構、国連、ODA、国際貢献、NGO、NPO、ボランティア、市民社会
4	8/18(木)	4	地域精神実習室	HIV/AIDSへの国際社会の取り組み	後藤 喜広	(非常勤講師)	HIV/AIDSが国際的課題となっている背景と看護について理解する。 HIVの知識、感染経路、予防方法について理解する。	プライマリー・ヘルスケア、国際公共財、地域ケアシステム、偏見、差別、平等、潜在能力
5	8/19(金)	1	地域精神実習室	難民と貧困問題への取り組み	後藤 喜広	(非常勤講師)	復興支援への医療従事者の関わり方と看護について理解する。 貧困問題の背景と看護についての理解を深める。	民族紛争、難民、復興支援、人権、経済格差、貧困、ジェンダー、開発
6	8/19(金)	2	地域精神実習室	国際看護の基本となる概念と実践活動	後藤 喜広	(非常勤講師)	国際看護に必要な理論や哲学などの基本的概念と国際看護の方法について理解する。	プライマリー・ヘルスケア、健康、人間の幸福、文化、多様性
7	8/19(金)	3	地域精神実習室	国際看護の実践活動のためのツール	後藤 喜広	(非常勤講師)	現地主体での活動が自立継続するための国際看護の方法を理解する。	PLA、PCM、フィールドワーク、アクションリサーチ、自立継続性、異文化看護、EPA看護師
8	8/19(金)	4	地域精神実習室	課題発表、まとめ	後藤 喜広	(非常勤講師)	国際的な研究や協力の必要性の理解。	

教育グランドデザインとの関連: 1,2,4,7

学位授与の方針との関連: 1,2

指定教科書: 近藤麻理著「知って考えて実践する 国際看護」医学書院、2011年

参考書: 1. 国際保健医療学、杏林書店、日本国際保健医療学会編、2001年

2. 優しく学べる 国際保健・看護の基礎と実践、桐書房、山崎明美他編

3. 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて、ピラールプレス、柳澤理子編

4. 国際保健・看護、弘文堂、丸井英二・森口育子編、2008

週刊医学界新聞看護版「いまアジアでは」医学書院<http://www.igaku-shoin.co.jp/>

評価: グループワークへの積極的な参加30%、講義終了後のレポート提出40%、講義への出席30%

4年生後期の科目であるが、授業は8月～9月に集中講義で行う。